

1. 背景・目的

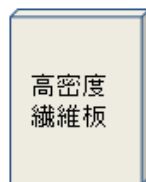
労働者人口の減少により現場での生産性向上が求められている。

本研究開発では、木質繊維を高密度化した建築部材を開発し、それを用いて高耐力および省施工となる合理的な工法を提案し実証する。

2. 技術開発の概要

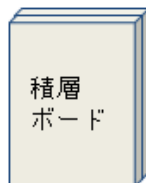
木質繊維を高密度化した建築部材を開発する。

① 高密度繊維板の開発



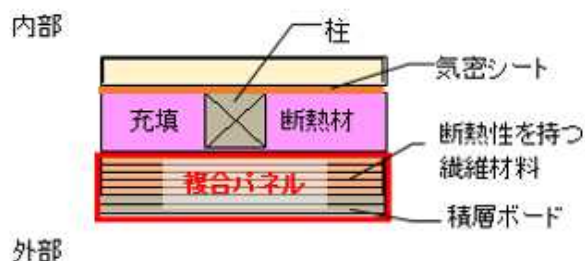
- ・ 厚さ2.5~5mm
- ・ 密度850kg/m³以上
- ・ 3尺×10尺で約10kg
- ・ 壁倍率2.5倍以上

② 高密度繊維板を積層化した高耐力な積層ボードの開発、および、施工が省力化できる工法の開発



- ・ 2層以上
- ・ 壁倍率7倍相当
- ※床・屋根にも適用可

③ ①または②と断熱性をもつ繊維材料との複合化による複合パネルの開発および、省力化工法の検討

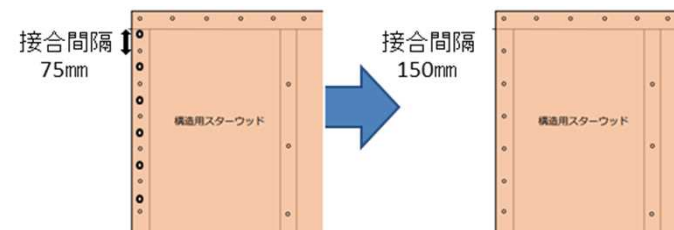


3. 実施体制

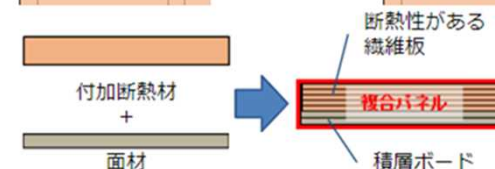
- ・ ホクシン株式会社
- ・ 坂本雄三 東京大学名誉教授
- ・ 鎌田貴久 日本大学専任講師

4. 生産性向上の効果

① 積層ボードによる工数の削減



② 複合パネルによる工種および工数削減



③ リードタイム (現場までの配送と現場での施工準備) の削減